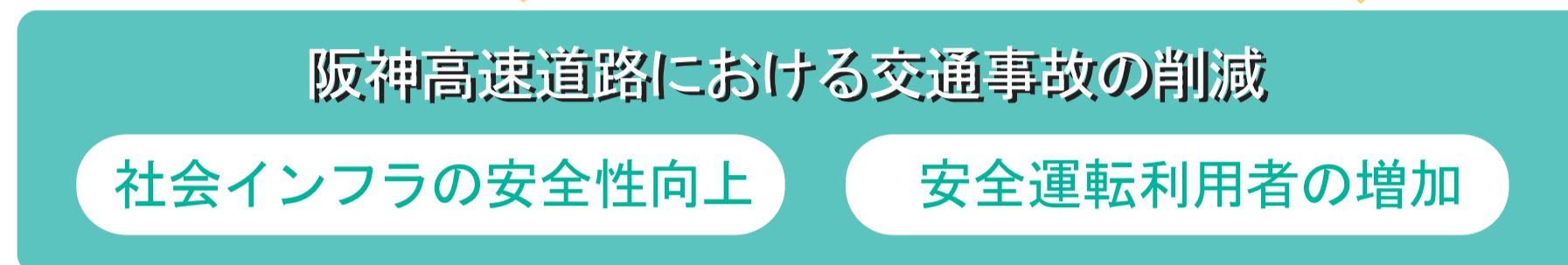
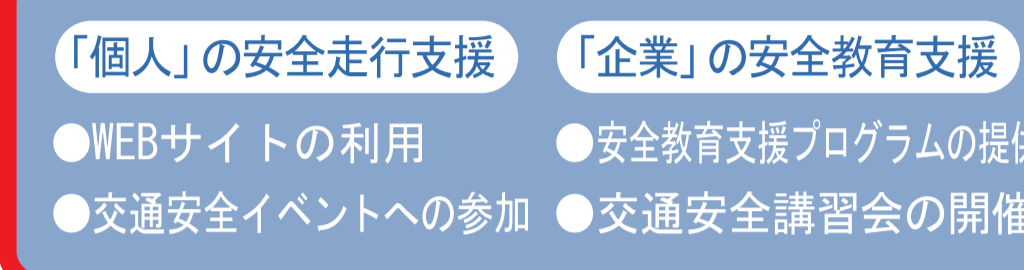
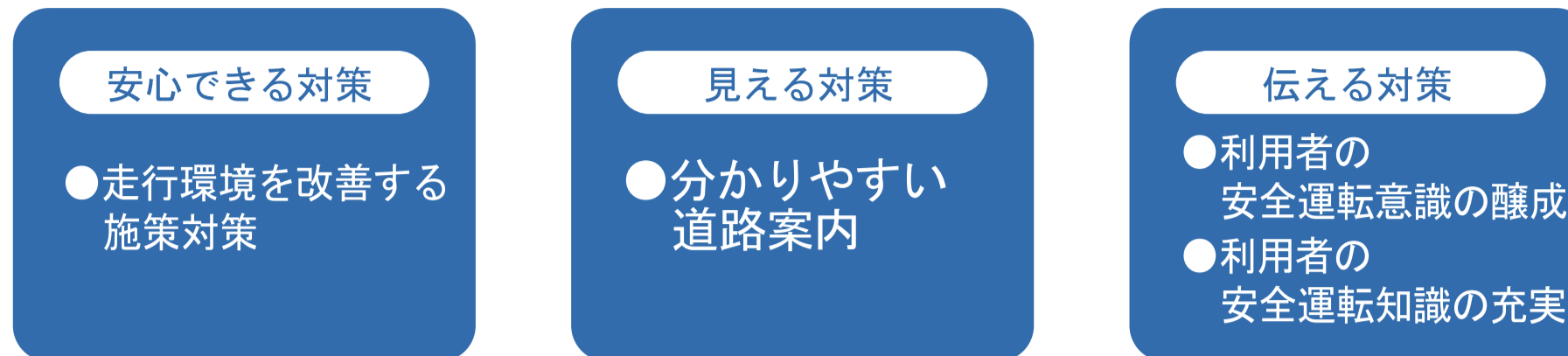


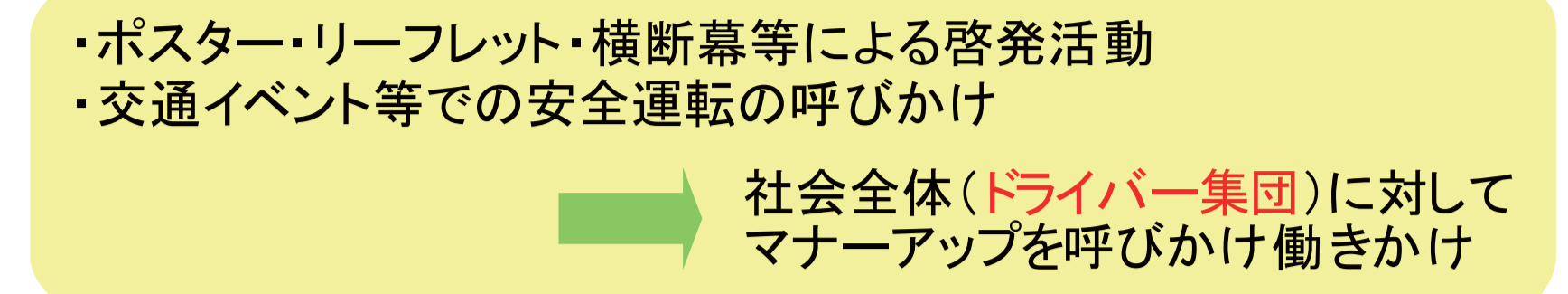
阪神高速道路の交通安全対策と「阪高 SAFETY ナビ」実施の背景

第2次アクションプログラム (H22 ~ H24)



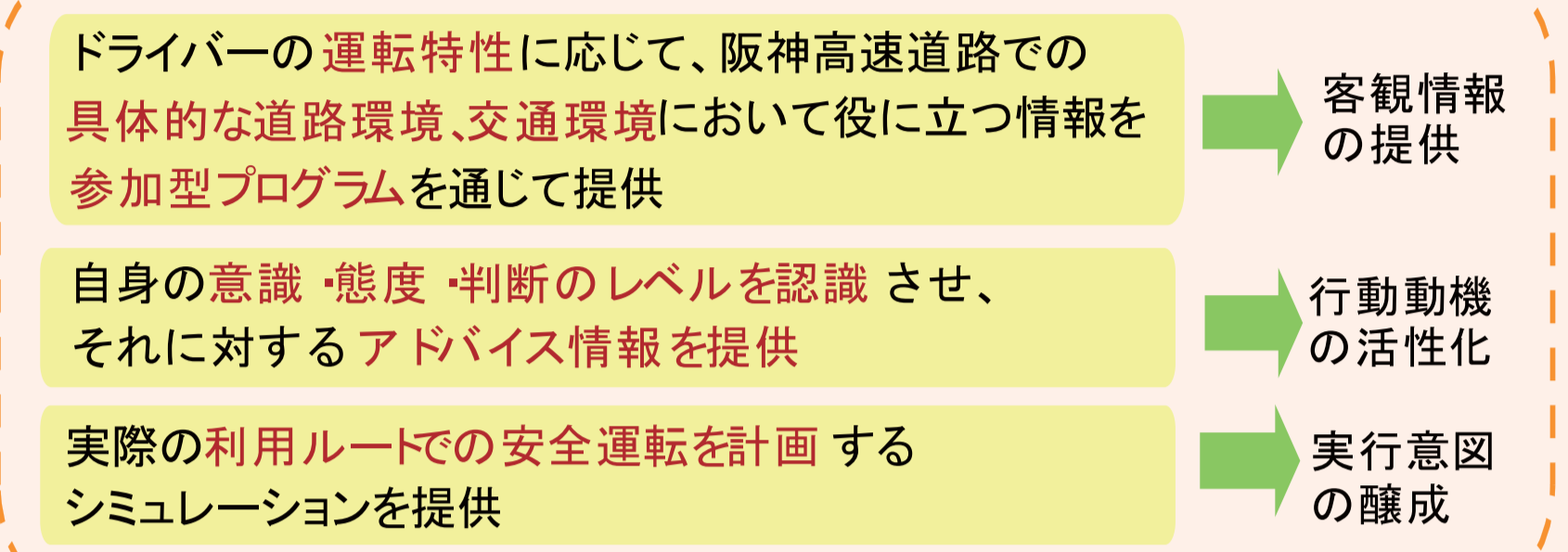
より安心・安全・快適な阪神高速道路の実現

◆従来実施してきたドライバーを対象とした交通安全対策のアプローチ



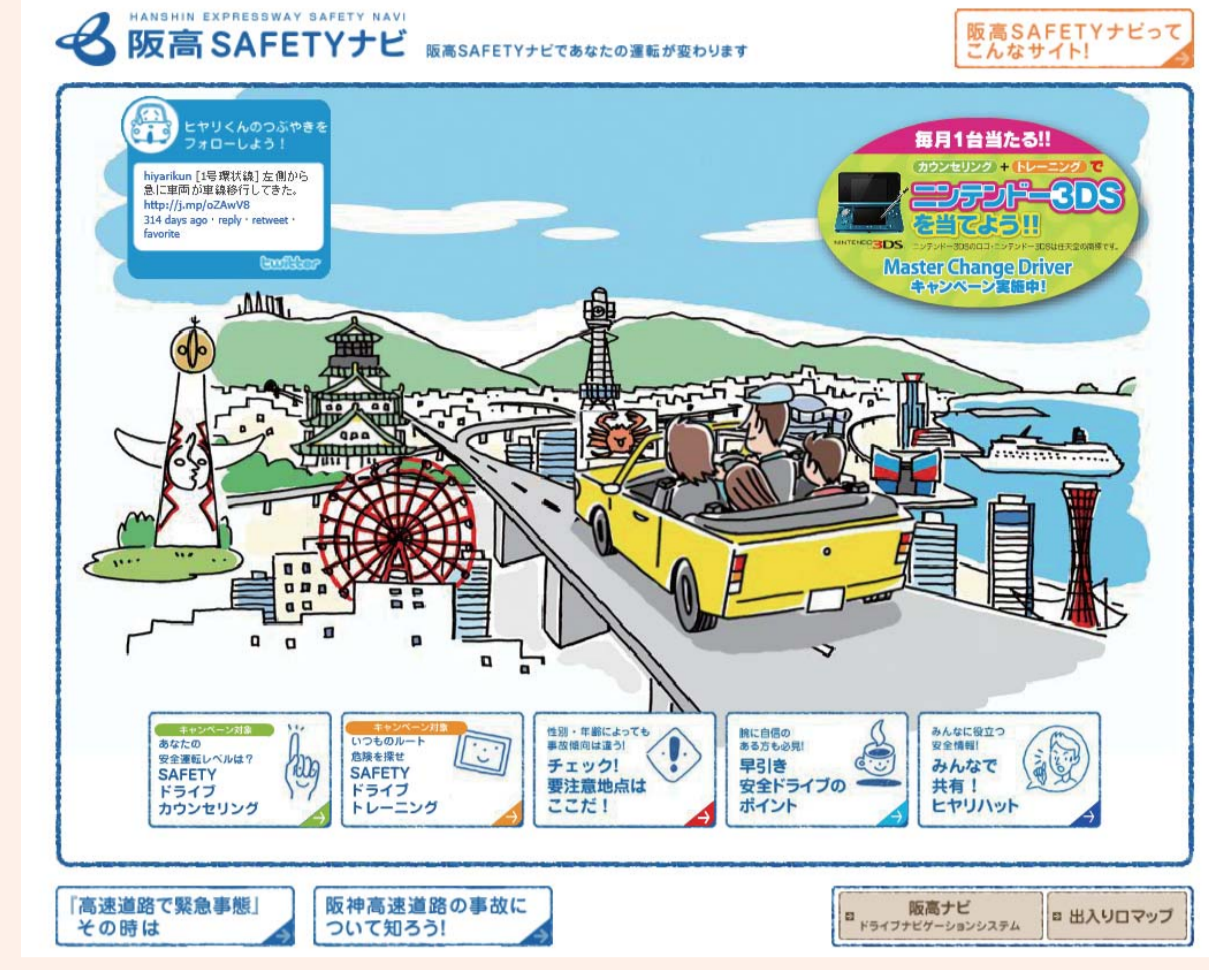
従来の方法では、ドライバーが自身の問題と認識することに限界・・・

ドライバー個人に
「個別に」「具体的に」「コミュニケーションによる」働きかけ

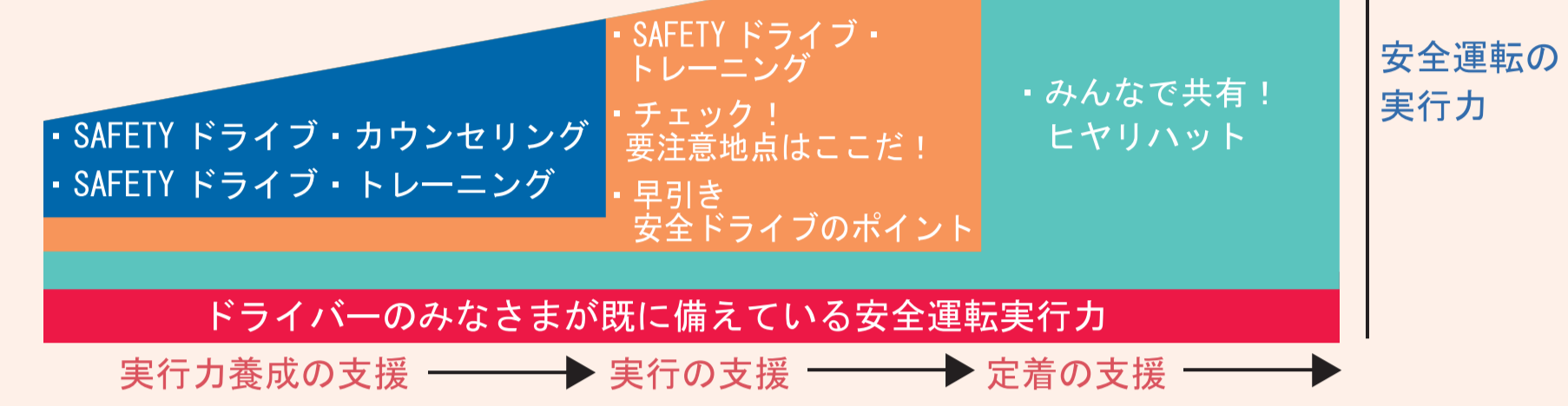


◆安全運転への行動変容を期待した社会心理学に基づくアプローチへ

◆WEBを活用した安全運転の働きかけ「阪高SAFETYナビ」



●WEBコンテンツの構成概念図



- 2011年2月8日「阪高SAFETYナビ」本格運用開始！
- 2011年8月「阪高SAFETYナビ」団体用サイト開始！
⇒4社が取り組み

「阪高 SAFETY ナビ」プログラムの概要

これまで蓄積してきた事故統計分析結果から得た有益な情報や安全運転のノウハウを、如何にしてサービスとしてドライバーに提供するか

SAFETY ドライブ・カウンセリング

ドライバーに自分の運転を知ってもらおう

- 安全運転動機の活性化
- 自身の特性に応じた安全運転知識の習得

◆全体構成

阪神高速上のいくつかの運転局面に関して、意識、態度、行動を選択回答（40問）

フィードバック情報やアドバイス情報等を提供し、5つの視点から「安全運転度」を診断

- 【5つの視点】
- ①危険感受度
 - ②危険対処行動
 - ③自己コントロール
 - ④安全態度
 - ⑤社会・他者への配慮



SAFETY ドライブ・トレーニング

阪神高速道路を安全に乗りこなすための適性を高める。

- 交通状況に応じた危険察知力およびその対応力を習得

◆全体構成

阪神高速上の様々な運転局面映像を見て（15場面）、危険の度合いと危険要素を回答

結果をフィードバックするとともに、正答しなかった設問に対するアドバイス情報を提供することで、危険に対する知覚を高め、事故の発生を防止する。

- 【評価の視点】
- ①危険感受度：各場面で危険と感じた度合い
 - ②危険認知度：危険要素を認知できたかどうか



SAFETY ドライブ・プランニング

阪神高速道路を安全に乗りこなすための走行ルートの計画

利用ルートや指定する経路上の事故率、注意地点のアドバイス情報を提供。

チェック！要注意地点はここだ！

注意地点をアドバイス情報とともに、事故統計結果から得られたドライバー属性別の代表的な注意地点情報を提供。

早引き・安全ドライブのポイント

阪神高速を安全に乗りこなすコツを提供

事故傾向の特徴が異なるドライバーの属性ごとに、客観的な事故関係情報や阪神高速道路を安全に乗りこなすためのアドバイス情報を提供。

みんなで共有！ヒヤリハット

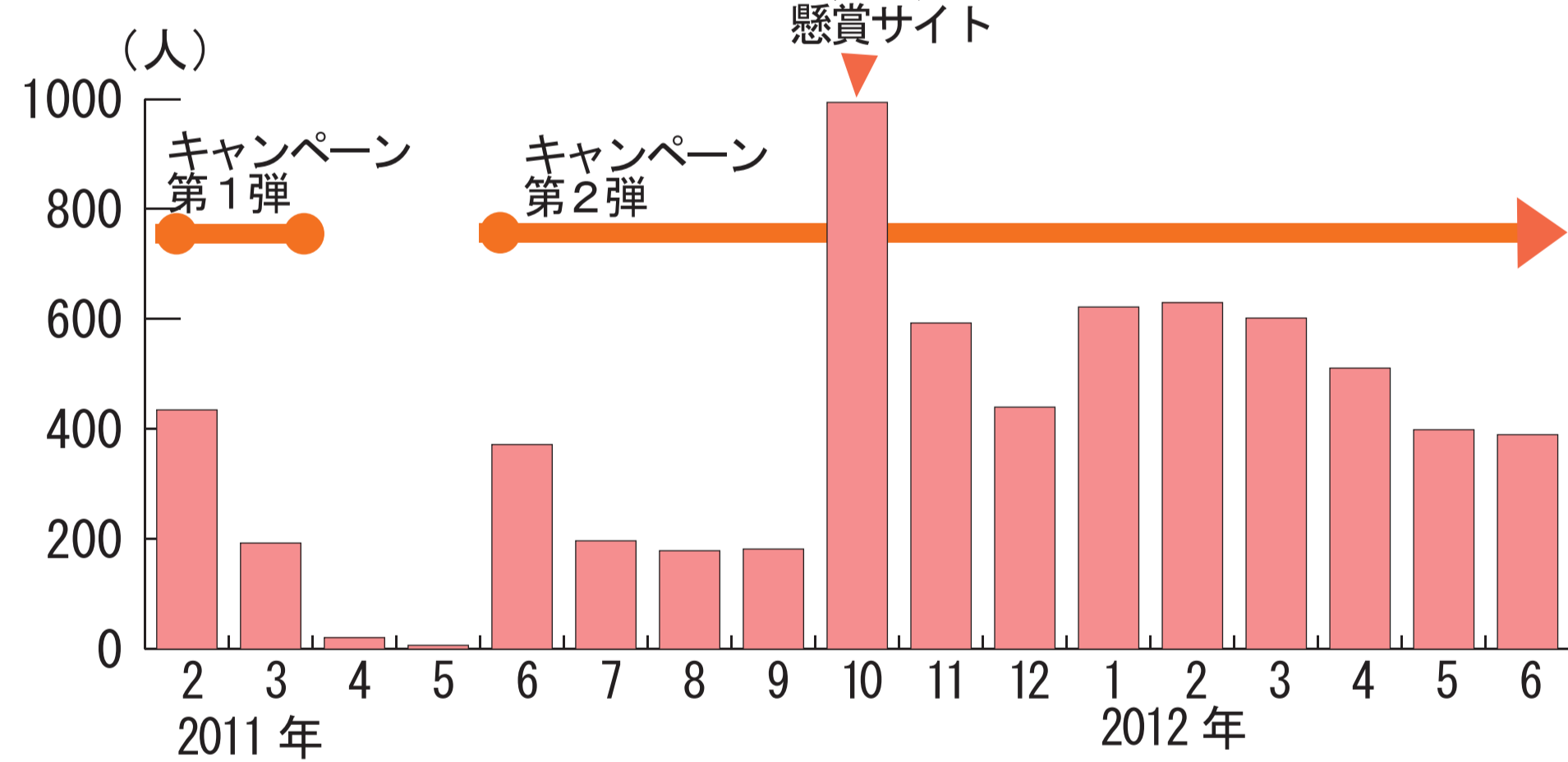
阪神高速道路を利用するドライバーのヒヤリハット情報を共有

阪神高速道路上で発生している事故の約3分の2は追突・車間接触といった相互事故。個人で気付けなかった事故につながる可能性のある「小さな事」の情報を阪神高速道路を利用するドライバー全体で共有していきける広場を提供。

「阪高 SAFETY ナビ」取り組み状況・回答結果の検証

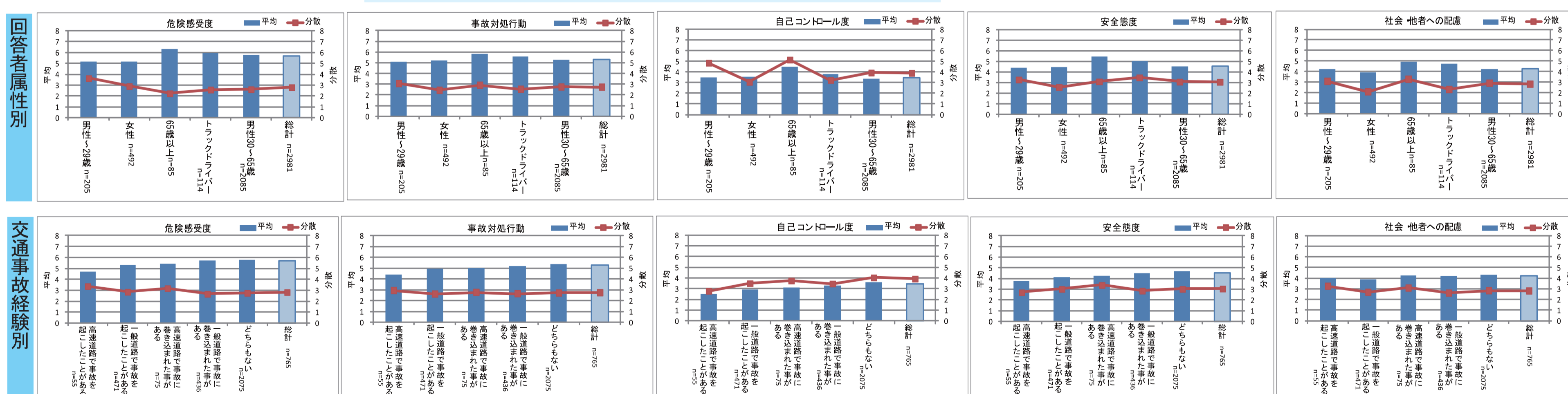
◆プログラム取り組み状況

- 取り組み終了後のアンケート回答者数
- 期間：2011年2月8日～2012年6月30日
- 取り組み者数計：6,767人

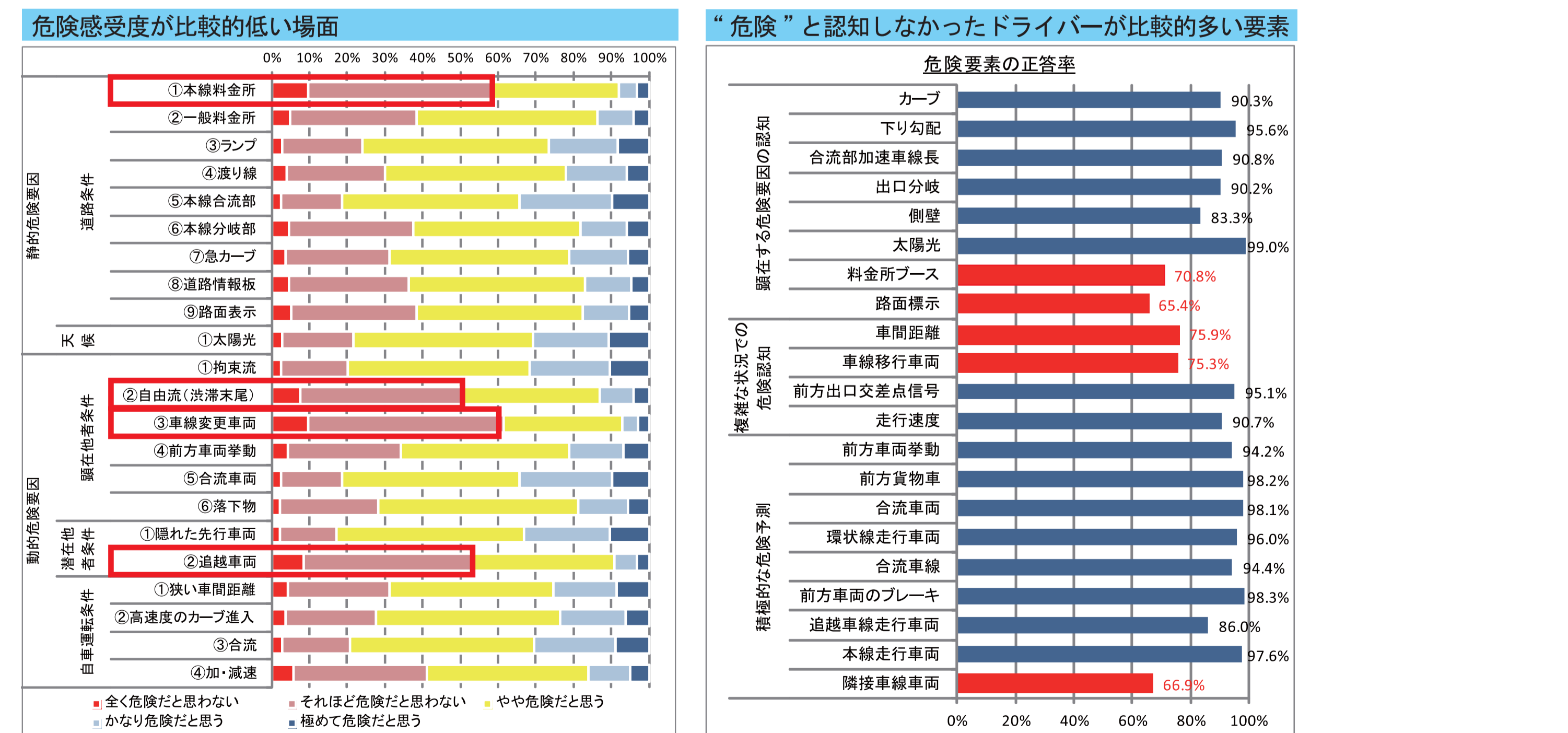


◆回答結果の検証 (検証対象期間：2011/2/8～2011/12/31, 11か月間)

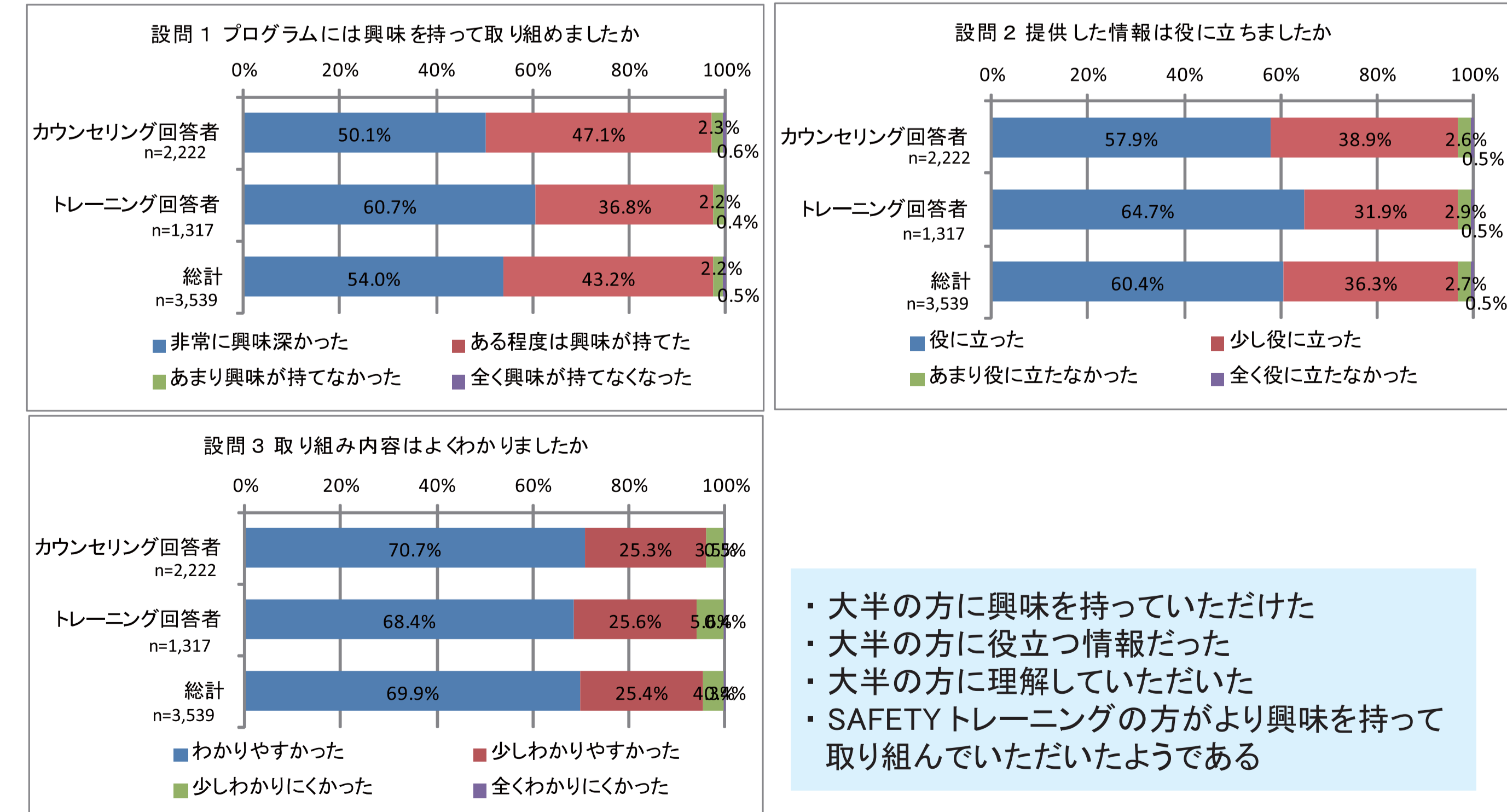
SAFETY ドライブ・カウンセリング



SAFETY ドライブ・トレーニング



◆プログラムへの感想



- 大半の方に興味を持っていただけた
- 大半の方に役立つ情報だった
- 大半の方に理解していただいた
- SAFETYトレーニングの方がより興味を持って取り組んでいただけたようである

【主な自由意見】

- ためになった、参考になった。改めて安全運転を再認識した。
- 自分の運転を見直した。注意点を具体的に知ることができた。
- 定期的にテストしてみたい。
- 家族、知人に紹介したい。多くの人に紹介してほしい。
- 企業の交通安全活動にも利用できる。
- 免許更新時にこのようなサービスがあればよい。
- 設問数が多い、時間がかかる。
- 選択肢があいまい、答えづらい。
- 設問の意味がわかりにくい。
- 動画が見づらい、小さい。

【問合せ先】 阪神高速道路株式会社 保全交通部
TEL：06-6252-8121（代表）
阪高SAFETYナビURL：<http://safetynavi.jp/>

今後の課題

- ◆分析結果の安全対策への反映
 - ドライバー属性の特性や危険要素への意識、態度を踏まえた安全対策の検討
- ◆取り組み促進
 - 事業所の取り組み推進（交通安全研修等の活用）
 - 関連サイトとの連携（JAF、保険業者等との連携）
 - 関係機関との連携（免許更新時研修との連携等）
 - 効果的なキャンペーン など
- ◆効果の定量評価とプログラムのアップデート
 - 追跡調査等による効果の定量評価の方法検討
 - 取り組み結果の検証、評価を活用したプログラムのアップデート